

2025 年 度 事 業 報 告 書

I 事 業 の 概 要

1. 遠山記念館の維持運営

- ・遠山記念館の維持運営については、従来の方針を踏襲した。

2. 美術品、その他資料の収集、保管並びに一般公開

(1) 美術品、その他資料の収集、保管

該当事項なし

(2) 美術品、その他資料の一般公開

(イ) 展 観 の 日 程

回	期 間	展 観 名	展 観 内 容
1	3月18日(木祝) ～ 5月18日(日)	テーマ展 近代の「日本画」	明治維新後、東京美術学校では旧狩野派の橋本雅邦の門下である横山大観や菱田春草らの作品が西洋絵画の影響を受けた新しい絵画を制作、現在は「日本画」と呼ばれている。本展では雅邦作品を中心に、館蔵の日本画を紹介した。
2	5月31日(土)～ 9月21日(日)	コレクション展1	2025年の大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢斬～」の放送に合わせ、喜多川歌麿「美人夏姿図」などの浮世絵をはじめ、コレクションの中から、夏にふさわしい作品を選んで紹介した。
3	10月4日(土) ～11月16日(日)	特別展 中国絵画への憧憬—楊文驄「江山孤亭図」と江戸時代の文人たち—	遠山記念館で所蔵する楊文驄「江山孤亭図」は、南画家である山本梅逸が入手し、頼山陽が袴を付けて出迎えたという逸話で知られる。本展では日本国内の楊文驄の作品を集めるとともに、それを受容した梅逸、山陽などの作品を並べ、この近世南画史の一面を浮かび上がらせることを試みた。
4	11月29日(土)～ 1月18日(日)	コレクション展2	遠山記念館の所蔵品の中から、新年の干支である馬を象った木彫作品である米原海雲「馬」をはじめ「源平武者絵」など馬に関連する作品や正月をお祝いするのにふさわしい染織品や工芸作品を選んで展示した。
5	2月7日(土)～ 3月15日(日)	テーマ展 雛の世界	立雛・享保雛・古今雛・芥子雛や近代の名工の作品、「子どもと遊び」をテーマとした人形・玩具類を展示し、遠山邸の大広間では恒例の雛壇飾りに加え、新寄贈の明治・大正・昭和期の雛段飾りも公開した。
6	3月28日(土)～ 5月10日(日)	テーマ展 茶道具と床飾り	遠山記念館の所蔵品の中から「青磁香炉 銘浦千鳥」や「菊蒔絵硯箱」など床飾りに関連する作品と共に、「玉垣文琳」や「黒楽茶碗 銘巖」などの茶道具の優品を選んで展示した。

- (注) 休館日 ・定例休館日 毎週月曜日(当日が祝祭日の場合は翌日)
 ・展示替期間
 ・年末年始 12月21日～1月5日

(ロ) 開館状況

- ① 開館日数：294日
 ② 入館者数：8,545人

(単位：人)

区分	今年度	前年度	増減差
大人	3,682	3,458	224
学生	171	129	42
団体	645	536	109
※他	4,047	3,419	628
合計	8,545	7,542	1,003

※他 招待、小人、優待、無料、YFC・県教委・障害者

③ 入館料収入

(単位：円)

今年度	前年度	増減差
5,429,020	4,659,870	769,150

(3) 収蔵作品の保存修復活動

岡田為恭「騎馬図」(マクリを屏風に表装)

(4) 収蔵作品の新規評価活動

該当事項なし

3. 展示等に関する講演会、教育普及関連の催事の開催

(1) 展示関連の催物、ワークショップ、ギャラリートーク等

4月26日(土) 土曜講座「橋本雅邦と日本画」 講師：依田徹(当館学芸課長)

10月18日(日) 特別講演会「楊文驄の芸術と亡国-その幕末・明治・大正・昭和への残響」

講師：宮崎法子氏(実践女子大学名誉教授)

11月1日(土) 特別講演会「関東南画の展開とその影響」

講師：村田隆志氏(大阪国際大学教授)

2月21日(土)、28日(土)、3月1日(日)・3日(火)「雛祭りの日ガイドツアー」

(2) 投扇興を楽しむ会

毎月第2日曜日を中心に実施

(3) 遠山邸 2階の特別公開

4月19日(土)、5月10日(土)、9月20日(土)、10月13日(月・祝) 以上4回

4. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 博物館実習の受託

期 間：9月17日から9月24日までの7日間

名古屋造形大学、武蔵大学、成城大学、十文字学園女子大学から学生4名を受入れる。

(2) 美術品の貸出協力

	貸出先	展覧会名	貸出期間	貸出作品
1	東京国立博物館	江戸☆大奥	7月19日～9月21日	1. 狩野養信「源氏物語子の日図」
2	MIHOミュージアム	伝説の漆匠 佐野長寛奇想と風雅の世界	8月1日～9月23日	1. 佐野長寛「遠州好春慶棚」
3	アーティゾン美術館	カタリウム	11月1日～11月26日	1. 「高野切」、2. 狩野養長「平治物語絵巻 六波羅合戦巻(模本)」
4	三井記念美術館	歌仙 在原業平と伊勢物語	2月21日～4月5日	1. 鈴木其一「業平東下り図」、2. 田付長兵衛「蔦の細道文台蒔絵硯箱」、3. 八橋模様小袖裂 紫縮緬地、4. 八橋模様小袖裂 白縮緬地、5. 単衣 白地杜若模様
5	慶応義塾ミュージアム・commons	モノたちの眼—メラネシア造形物と密やかなバイオグラフィ	3月18日～5月10日	1. 鏡型注口壺 加彩海豹・貝文様、2. 壺 加彩鳥人文様人面飾付

(3) 助成金、奨学金の支払い

(イ) 遠山記念館芸術・学術等助成金として、「埼玉県文化振興基金」に100万円を拠出した。

また、公募申請の結果、2名(小林未央子氏：埼玉県在住研究者、小谷野幸也氏：埼玉県立近代美術館 館長)に各25万円支払った。

(ロ) 遠山記念館留学生奨学金として、「埼玉県グローバル人材活躍基金」に100万円拠出した。

(ハ) 遠山記念館障害者のための文化芸術振興助成金として、「埼玉県シラコバト長寿社会福祉基金」に100万円拠出した。

5. 学芸員による主な研究活動

(1) 口頭発表

依田徹「茶の湯文化学会大会 玄心斎『会記』と江戸の裏千家—愛媛大学図書館所蔵の茶会記について—」(6月14日)

依田徹「茶の湯文化学会東京例会 幕末徳島藩の茶—『辛亥書記』を中心に—」(7月12日)

(2) 外部講座等

新井久代「さいたま市岩槻人形博物館人形資料等選考評価委員会委員長職務代理」(さいたま市)

新井久代「さいたま市岩槻人形博物館運営委員会委員長」(さいたま市)
新井久代「非常勤講師(博物館実習・博物館展示論・博物館情報・メディア論担当)」(跡見学園女子大学)
新井久代「さいたま市文化賞選考会議委員」(さいたま市)
柳澤恵理子「非常勤講師(日本文化概論Ⅰ担当)」(埼玉学園大学)
柳澤恵理子「非常勤講師(美術史担当)」(埼玉学園大学)
柳澤恵理子「非常勤講師(博物館教育論添削担当)」(京都芸術大学)
柳澤恵理子「十文字高等学校 日本史探求・世界史探求出張授業「展覧会ができるまで～博物館学
芸員の仕事～」」(十文字高等学校)
依田徹「さいたま茶道会講演会 茶道を志す者の知識」(4月9日)
依田徹「表千家不白流講演会 茶花と盆栽」(6月1日)
依田徹「表千家青年部講演会 了々斎の時代」(6月1日)
依田徹「NHK 知恵泉 先人たちの底力 子だくさん将軍・徳川家斉 長期政権の秘訣」(7月22日)
依田徹「サンリツ服部美術館講演会 近代数寄者と服部山楓」(10月19日)
依田徹「淡交会東静支部巡回講演会 小松宮彰仁親王と裏千家」(11月3日)
依田徹「非常勤講師(茶道史担当)」(昭和女子大学)
依田徹「非常勤講師(茶道史担当)」(学習院女子大学)
依田徹「非常勤講師(物の文化史担当)」(学習院女子大学)
依田徹「非常勤講師(近代茶道史)」(裏千家茶道学園)
依田徹「文化審議会文化財分科会 第六専門調査会委員(生活文化、食文化担当)」(文化庁)
依田徹「伝統文化親子教室事業に係る協力者会議委員」(文化庁)

(3) 刊行物等

柳澤恵理子「資料紹介「木曾義仲合戦図屏風」について—長野県立歴史館所蔵の長谷川信秋筆本を
中心に—」『軍記と語り物』第61号、軍記・語り物研究会、2025年3月
依田徹『懐石新書—革命と継承の日本料理—』淡交社、6月
依田徹「田安慶頼の茶の湯—井伊直弼と玄々斎の接点として—」『茶の湯文化学』45、茶の湯文化学会、3
月
依田徹「松平頼壽の小品盆栽道具について—竹本隼太の盆栽鉢を中心に—」『ミュージアム調査研究報
告』17、香川県立ミュージアム、3月

※「事業報告の内容を補足する重要な事項」(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条
第3項)がないため、事業報告附属明細書は作成しなかった。